

# はにわ通信

No.196 平成23(2011)年7月号

## 【松代城の復元整備を見学して】

先日、長野市松代を訪れました。松代は真田幸村<sup>さなだ ゆきむら</sup>で有名な真田氏の城下町<sup>たいこもん</sup>で、太鼓門など昔の姿が復元された松代城（国史跡）、庭園が素晴らしい真田邸（国史跡松代城附新御殿跡）、当時の最先端の学問を教えた文武学校など、江戸時代の文化を今に伝えている町です。



当時の姿がよみがえった内堀

松代城は、すぐ近くに川中島古戦場があります。戦国時代、武田信玄が上杉謙信の攻撃に備えて築いた海津城がもとになった城で、千曲川という自然の地形を生かした天然の要塞<sup>ようさい</sup>です。後に、真田信之が松代藩主として上田城から移った後、真田氏10万石の城下町が形成されました。

昭和56年（1981）に本丸を中心とした城跡の一部が国史跡に指定され、平成16年（2004）に太鼓門、内堀、石垣、土塁などが復元されました。長野市の文化財担当者の話によると、城跡の復元にあたって、計画的な発掘調査はもちろん地域に残されている絵図・文献などの資料の調査などあらゆる角度から研究がすすめられたそうです。その調査の中で、太鼓門<sup>きたあかずもん</sup>や北不明門<sup>やぐらもん さしず</sup>にあった櫓門の指図（設計図）が見つかり、建物の復元が可能になったとのことでした。いったん埋められていた内堀は、元あったように掘り直され、城の周りを囲んでいた土塁も復元され、とてもいい雰囲気<sup>きんぎ</sup>の城跡になっており、朝早くから散歩する地元の人、観光客、今流行りの「城ガール」など、たくさんの方々の姿をみることができました。

さて、松代城と同じく国史跡となった松坂城でも、専門家の意見もお聴きしながら整備方法についての検討が進められています。また、先日刊行された昨年のシンポジウム記録集に、千田嘉博先生の講演・パネルディスカッションの記録と共に掲載されたアンケート結果からも、みなさんの城跡に対する熱い思いが伝わってきます。今後すすめられる整備によって、松坂城が地域のシンボルにふさわしい、みなさんに親しまれる場所となるため、文化財センターも様々な情報発信をしていきたいと思ひます。



復元された松代城の太鼓門

(担当)

## 【夏の日に・・・】

さんてい かじつ  
山亭夏日

こうべん  
高駢

りよくじゆ かげ こまやか かじつ なが  
緑樹 陰 濃にして 夏日 長し  
ろうだい かげ さかさま ちとう い  
楼台 影を倒にして 池塘に 入る  
すいしょう れん うご びふう お  
水晶の 簾 動いて 微風 起り  
まんか しょうび(そうび) いちいん かんば  
満架の 薔薇 一院 香し



(みどりの木々が濃いかげをおとし、夏の日はなかなか暮れない。せのたかい建物が、姿をさかさまに池に映っている。水晶かざりのついたスダレはかすかな風にゆれうごき、棚いっぱい咲くばらの香りが中庭にただよっている。)

夏の日、いつまでも暮れようとせず一日がより長くかんじられます。暑いなかであればあるほど、ちょっとした風のこちよさは格別<sup>かくべつ</sup>のものがあります。まして、そこに花の香りがくわればなおさらでしょう。文化財センターがある鈴の森公園にそびえる、ケヤキの大木は公園のシンボルツリーといわれています。この季節、青葉のしげったかげの下は家族づれやグループなど、たくさんの市民のみなさんでにぎわいます。

文化財センターでは、市内中学校のわくわくワーク（職業体験学習）をうけいれています。中学生のみなさんは、天白遺跡の縄文壺のレプリカ製作、勾玉づくり、はにわ館での展示解説体験などなど、いっしょうけんめいにチャレンジしてくれました。参加したみなさんの感想のなかで印象深かったこととして、はにわ館・ギャラリー来館者の方々をはじめ、たくさんの方との出会いがあげられていたのは、みなさん一人ひとりの世界の広がりを実感できた結果のあらわれであったようにおもわれます。

みなさんおつかれさまでした。

高駢 晩唐（836～907）の武人・詩人

(所長)

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 7月の催し物予定

月曜日、祝日の翌日は休館です。開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

### 【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料。）

- 第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ■企画展「そうだったのか!! 榊田川～遺跡で学ぶ人びとのくらし～」 7/16(土)～9/4(日)  
☆ミュージアム・トーク開催：7月30日(土) 13:30～14:30(申し込み不要)  
企画展の展示解説を当センター職員が行ないます。

### 【ギャラリー】 入場無料

- 第2ギャラリー ■絵画サークル 水彩の會「四季つれづれ(シキツレヅレ)」  
7/9(土)～18(祝) \*毎日16:30まで
- 第3ギャラリー ■木游人展2011 7/21(木)～8/21(日)
- 第2ギャラリー ■アートフォーラム三重松阪作品展2011 7/24(日)～8/21(日)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)